

SYLLABUS (体育)

単位数	3	履修学年	1 年	履修学科	普通科
使用教科書		現代高等保健体育 改訂版 (大修館書店)			
学習の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。		授業の概要	全体で行う集団行動、準備運動を通して協力する態度や規律について学習し、基礎体力の向上を図る。 種目選択では、その種目に対する個人的技能の向上やゲームを楽しむ態度を養うとともに、自己や仲間の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫する姿勢を身に付ける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	体づくり運動 (通年) 球技選択Ⅰ ベースボール型 (ソフトボール) ネット型 (バレーボール・バドミントン) 体育理論 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展		・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康保持増進や体力の向上を図る。 ・タイミングを合わせてボールを捉えることができるようにする。仲間と連携した守備ができるようにする。(ベースボール型) ・ボールを空いた場所や狙った場所に打ち返すことができるようにする。(ネット型) ・スポーツの意義や歴史、文化的特性や現代スポーツを取り巻く様々な問題について理解できるようにする。		
2 学期	ダンス 創作ダンス (ガイヤ) 球技選択Ⅰ 球技選択Ⅱ ゴール型 (サッカー・バスケットボール) ネット型 (バドミントン) 体育理論 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展		・表したいテーマにあった動きを、強弱や空間の使い方に変化をつけて表現できるようにする。 ・安定したドリブルやパスで、空いた空間にボールを運ぶことができるようにする。(ゴール型) ・仲間と連携し、コースや球種を打ち分けるショットによって攻防を展開できるようにする。(ネット型) ・スポーツの意義や歴史、文化的特性や現代スポーツを取り巻く様々な問題について理解し、課題の発見とその解決に向けて思考し、判断できるようにする。		
3 学期	陸上競技 持久走 球技選択Ⅱ		・自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。		
評価	観 点		評価の観点の趣旨		評価項目
	知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。		・知識、技能 ・活動に取り組む態度	
	思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		・発表、グループ活動の発言	
	主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。			
学習アドバイス	○授業の取組 集団行動や集団走では、張りのある元気な声ときびきびとした態度で臨みましょう。 また、各種目においては、知識や技能の獲得に向け粘り強く取り組み、自分やチームの技術向上のためにどうすればよいか考え、積極的に発表しましょう。 ○家庭学習(予習・復習) 前時での自分の課題を次時に生かせるよう調べておく。				

SYLLABUS (体育)

単位数	2	履修学年	1 年	履修学科	工業科
使用教科書		現代高等保健体育 改訂版 (大修館書店)			
学習の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。		授業の概要	全体で行う集団行動、準備運動を通して協力する態度や規律について学習し、基礎体力の向上を図る。 種目選択では、その種目に対する個人的技能の向上やゲームを楽しむ態度を養うとともに、自己や仲間の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫する姿勢を身に付ける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	体づくり運動 (通年) 球技選択Ⅰ ベースボール型 (ソフトボール) ネット型 (バレーボール・バドミントン) 体育理論 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展		- 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康保持増進や体力の向上を図る。 - タイミングを合わせてボールを捉えることができるようにする。仲間と連携した守備ができるようにする。(ベースボール型) - ボールを空いた場所や狙った場所に打ち返すことができるようにする。(ネット型) - スポーツの意義や歴史、文化的特性や現代スポーツを取り巻く様々な問題について理解できるようにする。		
2 学期	ダンス 創作ダンス (ガイヤ) 球技選択Ⅰ 球技選択Ⅱ ゴール型 (サッカー・バスケットボール) ネット型 (バドミントン) 体育理論 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展		- 表したいテーマにあった動きを、強弱や空間の使い方に変化をつけて表現できるようにする。 - 安定したドリブルやパスで、空いた空間にボールを運ぶことができるようにする。(ゴール型) - 仲間と連携し、コースや球種を打ち分けるショットによって攻防を展開できるようにする。(ネット型) - スポーツの意義や歴史、文化的特性や現代スポーツを取り巻く様々な問題について理解し、課題の発見とその解決に向けて思考し、判断できるようにする。		
3 学期	陸上競技 持久走 球技選択Ⅱ		自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。		
評価	観 点		評価の観点の趣旨		評価項目
	知識・技能		運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。		- 知識、技能 - 活動に取り組む態度
	思考・判断・表現		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		発表、グループ活動の発言
	主体的に学習に取り組む態度		生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。		
学習アドバイス	○授業の取組 集団行動や集団走では、張りのある元気な声ときびきびとした態度で臨みましょう。 また、各種目においては、知識や技能の獲得に向け粘り強く取り組み、自分やチームの技術向上のためにどうすればよいか考え、積極的に発表しましょう。 ○家庭学習(予習・復習) 前時での自分の課題を次時に生かせるよう調べておく。				

SYLLABUS (体 育)

単位数	2	履修学年	2 年	履修学科	普通科・工業科
使用教科書		現代高等保健体育 (大修館書店)			
学習の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。		授業の概要	全体で行う集団行動、準備運動を通して協力する態度や規律について学習し、基礎体力の向上を図る。 種目選択では、その種目に対する個人的技能の向上やゲームを楽しむ態度を養うとともに、自己や仲間の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫する姿勢を身に付ける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	体づくり運動 (通年) 球技選択Ⅰ ベースボール型 (ソフトボール) ネット型 (バレーボール・バドミントン) 体育理論 運動やスポーツの効果的な学習の仕方		・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素などを理解するとともに、実生活に役立てるための課題に取り組めるようにする。 ・送球では、コースや高さをコントロールして投げることができるようにする。打者の特徴や走者の位置に応じた守備位置に立つことができるようにする。(ベースボール型) ・相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動することができるようにする。(ネット型) ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。		
2 学期	ダンス 創作ダンス (ガイヤ) 球技選択Ⅰ 球技選択Ⅱ ゴール型 (サッカー・バスケットボール) ネット型 (バドミントン) 体育理論 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展		・表したいテーマにふさわしいイメージを捉えて、個や群でイメージを強調した作品にまとめて踊ることができるようにする。気づいた課題を他者に伝えることができるようにする。 ・シュートやパスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動することができるようにする。(ゴール型) ・チームの作戦に応じた守備位置から、拾ったり打ち返したりすることができるようにする。(ネット型) ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解し、課題の発見とその解決に向けて思考し判断できるようにする。		
3 学期	陸上競技 持久走 球技選択Ⅱ		・自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じてストライドやピッチを切り替えて走ることができるようにする。		
評価	観 点		評価の観点の趣旨		評価項目
	知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。		・知識、技能 ・活動に取り組む態度 ・発表、グループ活動の発言	
	思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。			
	主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。			
学習アドバイス	○授業の取組 集団行動や集団走では、張りのある元気な声ときびきびとした態度で臨みましょう。 また、各種目においては、知識や技能の獲得に向け粘り強く取り組み、自分やチームの技術向上のためにどうすればよいか考え、積極的に発表しましょう。 ○家庭学習 (予習・復習) 前時での自分の課題を次時に生かせるよう調べておく。				

SYLLABUS (体育)

単位数	2	履修学年	3 年	履修学科	普通科
使用教科書		現代高等保健体育（大修館書店）			
学習の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。		授業の概要	全体で行う集団行動、準備運動を通して協力する態度や規律について学習し、基礎体力の向上を図る。 種目選択では、その種目に対する個人的技能の向上やゲームを楽しむ態度を養うとともに、自己や仲間の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫する姿勢を身に付ける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	体づくり運動（通年） 球技選択Ⅰ ベースボール型（ソフトボール） ネット型（バレーボール・バドミントン） 体育理論 豊かなスポーツライフの設計の仕方		・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方を理解するとともに、実生活に役立てることや生涯にわたって運動を継続するための課題に取り組めるようにする。 ・ベースボール型、ネット型、それぞれの種目の特性を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にし、健全・安全を確保することができるようにする。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。		
2 学期	ダンス 創作ダンス 球技選択Ⅰ 球技選択Ⅱ ゴール型（サッカー・バスケットボール） ネット型（バドミントン） 体育理論 豊かなスポーツライフの設計の仕方		・表したいテーマや曲の特徴を捉えて、個や群でイメージを強調した作品にまとめて踊ること。気づいた課題を他者に伝えることができるようにする。 ・ゴール型、ネット型、それぞれの種目の特性を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にし、健全・安全を確保することができるようにする。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解し、課題の発見とその解決に向けて思考し判断できるようにする。		
3 学期	球技選択Ⅱ		・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にし、健全・安全を確保することができるようにする。		
評価	観 点		評価の観点の趣旨		評価項目
	知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。		・知識、技能 ・活動に取り組む態度 ・発表、グループ活動の発言	
	思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。			
	主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。			
学習アドバイス	○授業の取組 集団行動や集団走では、張りのある元気な声ときびきびとした態度で臨みましょう。 また、各種目においては、知識や技能の獲得に向け粘り強く取り組み、自分やチームの技術向上のためにどうすればよいか考え、積極的に発表しましょう。 ○家庭学習（予習・復習） 前時での自分の課題を次時に生かせるよう調べておく。				

SYLLABUS (体育)

単位数	3	履修学年	3 年	履修学科	工業科
使用教科書		現代高等保健体育（大修館書店）			
学習の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。		授業の概要	全体で行う集団行動、準備運動を通して協力する態度や規律について学習し、基礎体力の向上を図る。 種目選択では、その種目に対する個人的技能の向上やゲームを楽しむ態度を養うとともに、自己や仲間の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫する姿勢を身に付ける。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	体づくり運動（通年） 球技選択Ⅰ ベースボール型（ソフトボール） ネット型（バレーボール・バドミントン） 体育理論 豊かなスポーツライフの設計の仕方		・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方を理解するとともに、実生活に役立てることや生涯にわたって運動を継続するための課題に取り組めるようにする。 ・ベースボール型、ネット型、それぞれの種目の特性を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にし、健全・安全を確保することができるようにする。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。		
2 学期	ダンス 創作ダンス 球技選択Ⅰ 球技選択Ⅱ ゴール型（サッカー・バスケットボール） ネット型（バドミントン） 体育理論 豊かなスポーツライフの設計の仕方		・表したいテーマや曲の特徴を捉えて、個や群でイメージを強調した作品にまとめて踊ること。気づいた課題を他者に伝えることができるようにする。 ・ゴール型、ネット型、それぞれの種目の特性を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にし、健全・安全を確保することができるようにする。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解し、課題の発見とその解決に向けて思考し判断できるようにする。		
3 学期	球技選択Ⅱ		・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にし、健全・安全を確保することができるようにする。		
評価	観 点		評価の観点の趣旨		評価項目
	知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。		・知識、技能 ・活動に取り組む態度 ・発表、グループ活動の発言	
	思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。			
	主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。			
学習アドバイス	○授業の取組 集団行動や集団走では、張りのある元気な声ときびきびとした態度で臨みましょう。 また、各種目においては、知識や技能の獲得に向け粘り強く取り組み、自分やチームの技術向上のためにどうすればよいか考え、積極的に発表しましょう。 ○家庭学習（予習・復習） 前時での自分の課題を次時に生かせるよう調べておく。				

SYLLABUS (保健)

単位数	1	履修学年	1 年	履修学科	普通科・工業科
使用教科書		現代高等保健体育 改訂版 (大修館書店)			
学習の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育てる。			授業の概要	教科書と副教材「現代高等保健体育ノート」を中心に授業を行う。加えてICT機器の利用や調べ学習やロールプレイング、ディベートなど生徒が主体的に学習できるように実践内容を工夫し、理解の定着を目指す。
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1 学期	1 現代社会と健康 (1)健康の考え方と成り立ち (2)私たちの健康のすがた (3)生活習慣病の予防と回復 (4)がんの原因と予防 (5)がんの治療と回復 (6)運動と健康 (7)食事と健康 (8)休養・睡眠と健康			・健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていることを理解できるようにする。 ・健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。	
2 学期	(9)喫煙と健康 (10)飲酒と健康 (11)薬物乱用と健康 (12)精神疾患の特徴 (13)精神疾患の予防 (14)精神疾患からの回復 (15)現代の感染症 (16)感染症の予防 (17)性感染症・エイズとその予防 (18)健康に関する意思決定・行動選択 (19)健康に関する環境づくり			・喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないことを理解できるようにする。 ・精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気づくことが重要であることを理解できるようにする。 ・感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解できるようにする。 ・健康の保持増進にはヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解できるようにする。	
3 学期	2 安全な社会生活 (1)事故の現状と発生要因 (2)安全な会社の形成 (3)交通における安全 (4)応急手当の意義とその基本 (5)日常的な応急手当 (6)心肺蘇生法			・安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であることを理解できるようにする。 ・交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の声明を損痛する態度、交通環境の整備が関わることを理解できるようにする。 ・適切な応急手当は、障がいや疾病の悪化を軽減できることを理解するとともに、応急手当には正しい手順や方法があることを理解できるようにする。 ・応急手当は、障害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解できるようにする。	
評価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。			・定期考査 ・授業中の諸活動 保健ノート ワークシート グループ活動発言 課題学習 発表 ・技能 応急手当、心肺蘇生
	思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。			
	主体的に学習に取り組む態度	生涯と通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。			
学習アドバイス	○授業の取組 保健の授業では、健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を学習していきます。それぞれの年代に応じた健康課題をしっかりと認識し、適切に対処できるようにしていきましょう。毎時間の学習内容をよく理解し、ノートにまとめましょう。グループ学習などでは、課題意識を持ち積極的に発言をして行きましょう。 ○家庭学習（予習・復習） 家庭生活で学習内容を振り返り、自分の生活に学習成果を活用しよう。				

SYLLABUS (保健)

単位数	1	履修学年	2年	履修学科	普通科・工業科
使用教科書		現代高等保健体育（大修館書店）			
学習の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育てる。		授業の概要	教科書と副教材「現代高等保健体育ノート」を中心に授業を行う。加えてICT機器の利用や調べ学習やロールプレイング、ディベートなど生徒が主体的に学習できるように実践内容を工夫し、理解の定着を目指す。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1学期	3 生涯を通じる健康 (1) ライフステージと健康 (2) 思春期と健康 (3) 性意識と性行動の選択 (4) 妊娠・出産と健康 (5) 避妊法と人工妊娠中絶 (6) 結婚生活と健康 (7) 中高年期と健康 (8) 働くことと健康 (9) 労働災害と健康 (10) 健康的な職業生活		・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解できるようにする。 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する障害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解できるようにする。		
2学期	4 健康を支える環境づくり (1) 大気汚染と健康 (2) 水質汚濁、土壌汚染と健康 (3) 環境と健康にかかわる対策 (4) ごみの処理と上下水道の整備 (5) 食品の安全性 (6) 食品衛生にかかわる活動 (7) 保健サービスとその活用		・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることを理解できるようにする。 ・食品の安全性を確保することは、健康を保持増進する上で重要であることを理解できるようにする。 ・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター医療機関などを適切に活用が必要であることを理解できるようにする。		
3学期	(8) 医療サービスとその活用 (9) 医薬品の制度とその活用 (10) 様々な県活動や社会的対策 (11) 健康に関する環境づくりと社会参加		・医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があることを理解できるようにする。 ・我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解できるようにする。 ・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であることを理解できるようにする。		
評価	観 点	評価の観点の趣旨		評価項目	
	知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。		・定期考査 ・授業中の諸活動 保健ノート ワークシート グループ活動発言 課題学習 発表	
	思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他社に伝えている。			
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。				
学習アドバイス	○授業の取組 保健の授業では、健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を学習していきます。それぞれの年代に応じた健康課題をしっかりと認識し、適切に対処できるようにしていきましょう。毎時間の学習内容をよく理解し、ノートにまとめましょう。グループ学習などでは、課題意識を持ち積極的に発言をして行きましょう。 ○家庭学習（予習・復習） 家庭生活で学習内容を振り返り、自分の生活に学習成果を活用しよう。				